

中国循環經濟發展 現状と展望

中国国家發展・改革委員會
資源節約・環境保護司循環經濟処
么 新

2014年12月28日



骨子



● 中国循環経済の最新状況

● 中国循環経済発展の趨勢

● 中日循環経済合作の空間的展望



一、中国循環経済の最新状況



中国循環経済発展の最新状況

• (一) 理論発展の新たなブレイクスルー

- 2012年11月，中国共産党第18回党大会は“小康社会の全面的建設”の戦略目標を提起し、生態文明構築を中国の特色ある社会主義事業の“五位一体”の総合計画に位置づけ、グリーン、循環、低炭素発展を志向。循環経済発展を生態文明構築の基本方式と必須ルートに位置づけるなど、かつてない高度な戦略的位置づけ。



中国循環経済発展の最新状況

• (二) マクロ計画の新提起

- 2013年1月、国務院は《循環経済発展戦略と当面の行動計画》を発表。8章、45節、2万7千字。
- 全体目標：2015年には主な資源産出率を15%向上、資源循環利用産業の総生産額を1.8兆元に。循環型生産方式やグリーン消費モデルの普及を進め、全社会をカバーする資源循環利用体系を構築。持続可能な成長能力の顕著な増強をはかる。

体系的にまとめられた中国最初の循環経済発展の総合戦略

循环经济发展战略及近期行动计划

人民出版社

中国循環經濟發展の最新状況

資源産出率指標

具体指標

資源循環利用指標

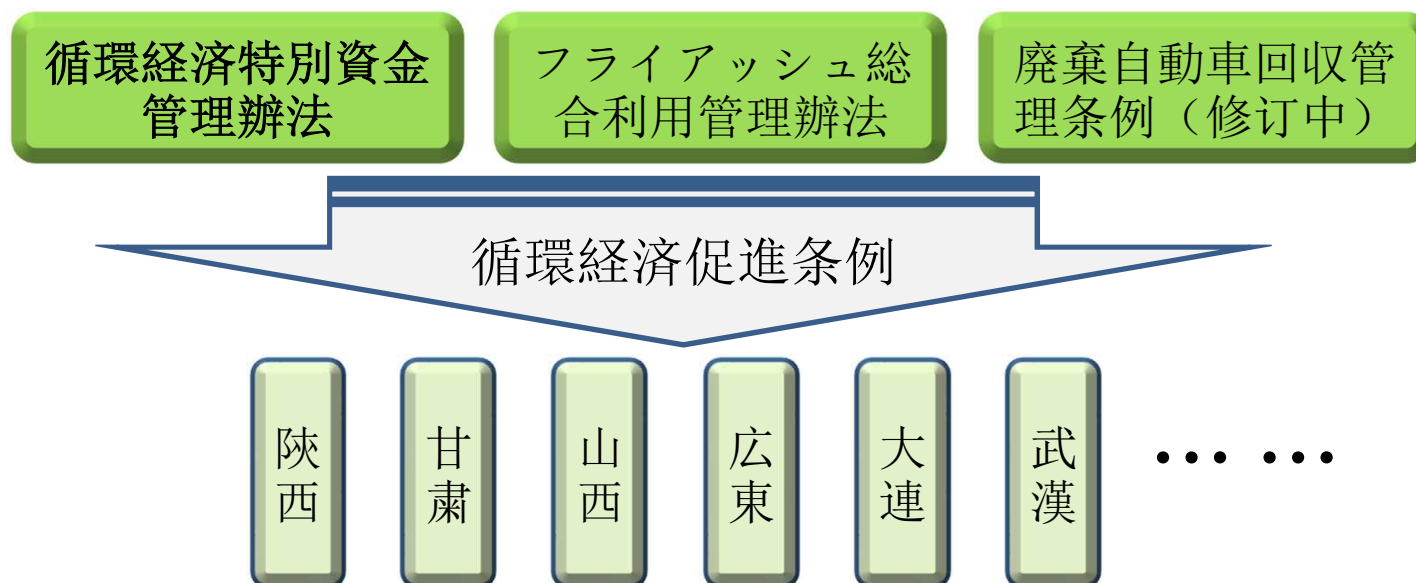
指标名称	单位	2010年	2015年	五年增长
主要资源产出率提高	%			15
能源产出率提高	%			19.4
水资源产出率提高	%			42.7
建设用地土地产出率提高	%			42.9
资源循环利用产业总产值	万亿元	1.0	1.8	0.8
工业固体废物综合利用量	亿吨	16.18	32.12	15.9
主要再生资源回收利用总量	亿吨	1.49	2.14	0.65
主要再生有色金属产量	万吨	793	1259	466
废钢利用量	万吨	8230	13000	4770
农业灌溉水有效利用系数	—	0.5	0.53	0.03
工业用水重复利用率	%	85.7	>90	>4.3
城镇污水处理设施再生水利用率	%	<10	>15	
城市生活垃圾资源化利用比例	%		30	
矿产资源总回收率	%	35	40	5
共生伴生矿综合利用率	%	40	45	5
工业固体废物综合利用率	%	69	72	3
主要再生资源回收率	%		70	
主要再生有色金属产量占总量比重	%	26.7	30	3.3
秸秆综合利用率	%	70.6	80	9.4

中国循環経済発展の最新状況

（三）法律体系が更に完備

2012年以来、国による関連法規が続々と制定され、《循環経済特別資金管理辦法》、《フライアッシュ総合利用管理辦法》が起草完了、《廃棄自動車回収管理条例》が改正作業中。《廃家電電子製品回収管理条例》は正式施行、基金の徴収と案件の進展は順調であり、基金目録の範囲の拡大を検討中。

2012年以来、地方法規も陝西、甘肅、山西、広東各省と大連、武漢市でそれぞれ地域の循環経済促進条例が制定された。厨芥、建設ごみ等の特定地方法規、規則も相次いで制定。



中国循環経済発展の最新状況

• (四) 産業発展が更に規範化

- 資源循環利用産業は省エネ・環境産業の重要な構成部分であり、国家7大戦略的新興産業の首位に位置づけ。
- 現在既に45の国家“都市鉱山”モデル基地を指定、完成後には各種の再生資源集積加工能力が3900万トン余り増加、年間で標準炭3800万トン余りの節約に相当。汚水排出を25億トン削減、SO₂排出を88万トン削減、CO₂を9300万トン余り削減。



中国循環経済発展の最新状況

- (四) 産業発展が更に規範化
- リビルド産業の積極推進
- 今日までに政府は42社のリビルドモデル事業と3の産業モデル基地を指定、あわせてエンジン、変速機15万セット、ステアリング、ダイナモ等200万セットのリビルド能力が形成。



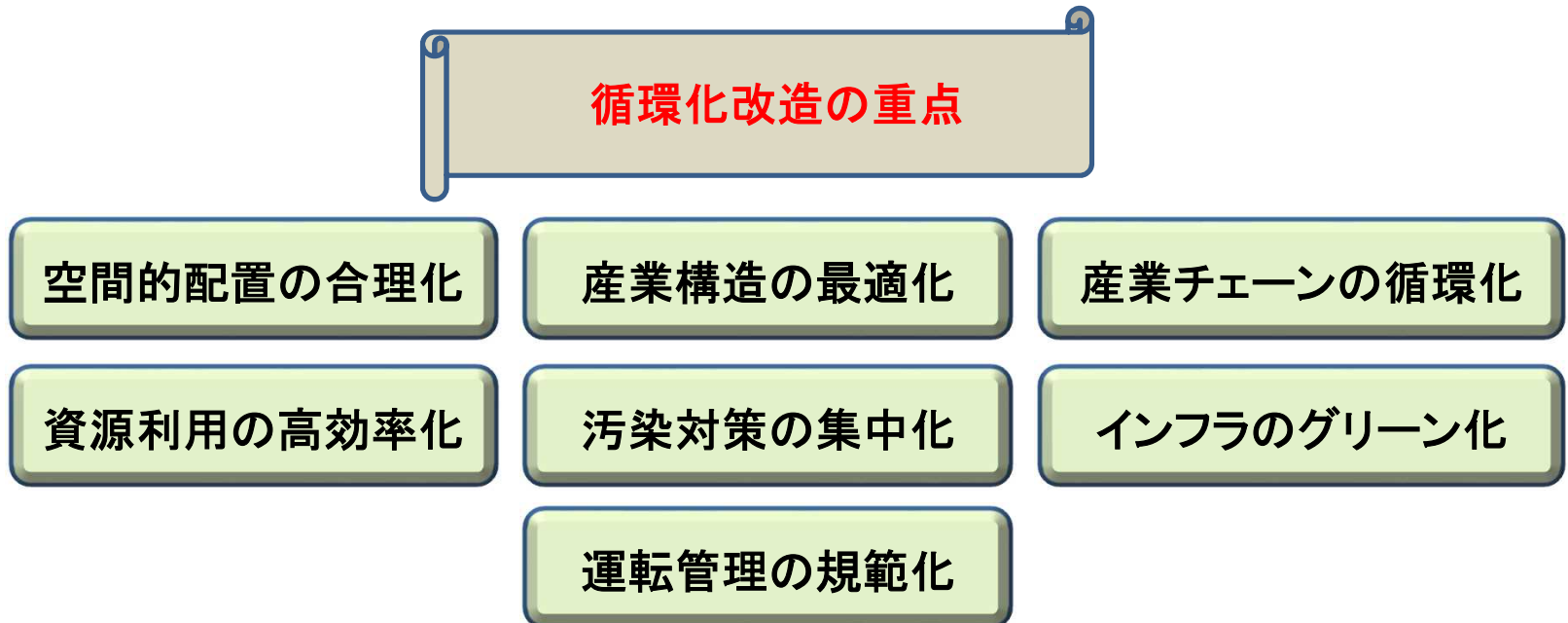
《リビルド企業品質技術規範》制定

《リビルド製品“以旧換再”推進モデル実施案》公布



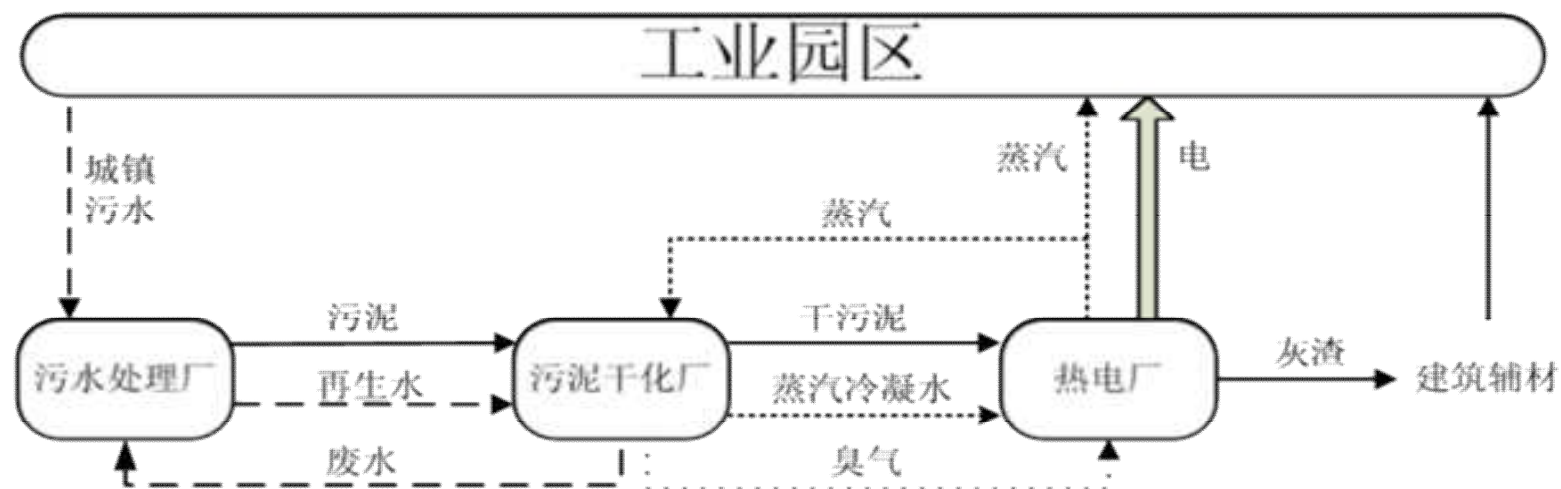
中国循環経済発展の最新状況

- (五)モデル事業のブレイクスルー
- 1 産業間の循環マッチングを重視。産業園區の循環化改造に積極的進展。既に75の園區の循環改造モデル。



中国循環経済発展の最新状況

- (五)モデル事業のブレイクスルー
- 2 生産システムと生活システムの循環連携
- 生産プロセス活用の都市廃棄物共同資源化処理を進め、建材、鉄鋼、電力等での廃棄物消化機能を発揮、クロム鉍滓、汚泥、生活ごみ、危険廃棄物等処理。

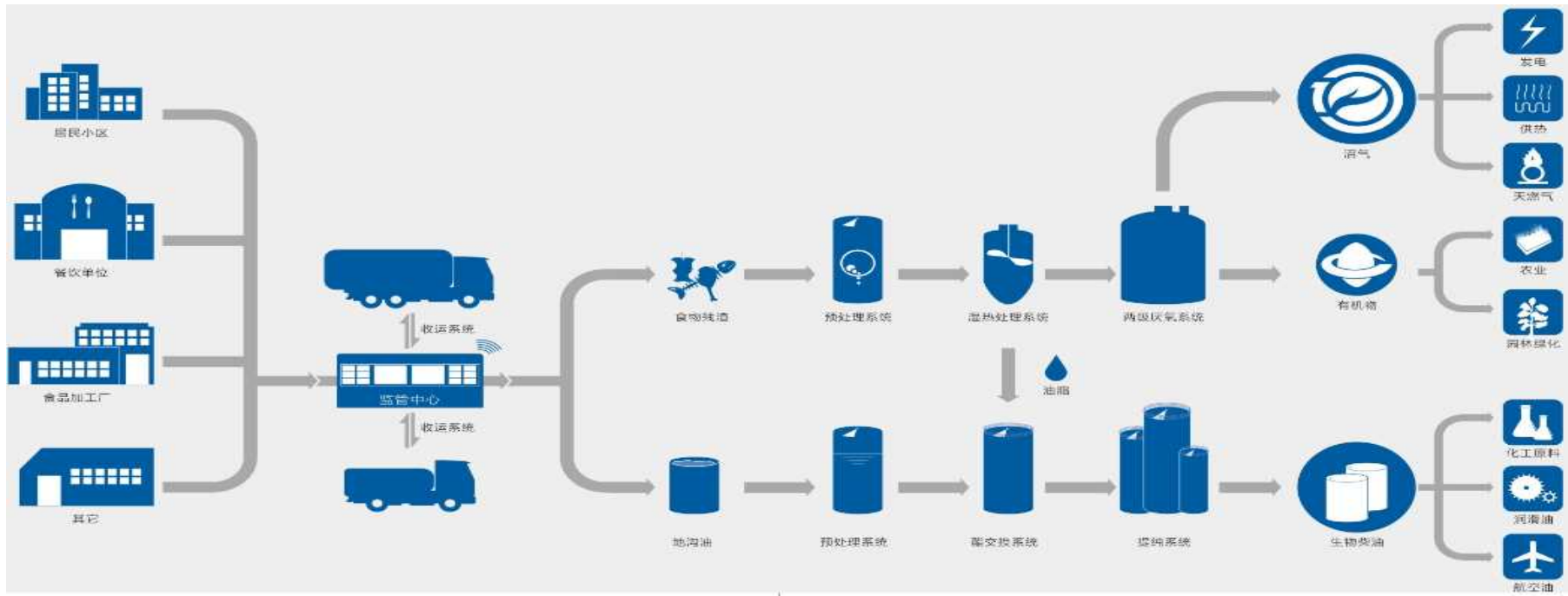


《生産プロセスでの都市及び産業廃棄物共同処理事業推進についての意見》

中国循環經濟發展の最新状況

(五)モデル事業のブレイクスルー

- 3 厨芥の資源化利用と無害化处理のモデル。
- 既に83の厨芥資源化利用・無害化モデルを実施し、わが国の国情に合致した厨芥の発生、収集、輸送、処理全過程の管理制度を構築し、標準と規則を健全化するとともに、プロセス、技術路線を改善充実。



中国循環経済発展の最新状況

- (五)モデル事業のブレイクスルー
- 4 循環型都市モデル事業構築
- 2013年、40の循環経済モデル都市(県)建設地区を確定。

循環経済モデル都市(県)建設重点

循環型生産方式の構築

循環型流通方式形成

グリーン消費モデルの
推進普及

都市建設のグリーン化
循環化推進

社会における資源循環
利用体系の健全化

循環経済発展体制メカ
ニズム創造革新

発展モデル転換模索

二、循環経済発展に向けた次のステップ



循環経済発展に向けた次のステップ

（一）制度建設の強化

《循環経済促進法》を改訂し、
法律の拘束性を増強する。



健全な拡大生産者責任
制度の構築を急ぐ

生産者の廃棄品回収、処理等に対する
責任の明確化を推進する

廃棄物、ごみの分類
制度を構築する

低価値や回収しにくい廃棄品に対するデポ
ジット回収制度を構築し、回収率を上げる

生産企業が一定の割合でリサイクル資源（再生原料、製品）を使用
する制度を研究し、リサイクル品の識別表示管理制度を整備する。

循環経済発展に向けた次のステップ

• (二) 循環経済評価の実施

- **資源産出率**を核とし、循環経済発展の効果を反映する評価指標システムを構築する。

$$\text{資源産出率} = \frac{\text{GDP (億元、不变価格)}}{\text{主要資源実物消費量 (万トン)}}$$

- 資源算出率を循環経済を発展させるための総合的指標とみなし、統計算出方法を整備し、経済社会発展計画の中に組み入れ、政府、産業園区、重点企業の循環経済発展に対する取組みを評価し、責任の明確化を推進する。
- 業種や地域ごとの資源産出率を算出評価する方式を研究制定し、科学的に各地の循環経済発展を指導する。

循環経済発展に向けた次のステップ

• (三) 政策メカニズムの整備

- 循環経済の発展には、市場に資源配置という決定的な役割を発揮させることが必須であり、有効な市場メカニズムが循環経済を持続可能とする核心である。
- 資源化製品の価格改革を深化させ、再生資源と元の資源との相対価格の関係を調整する。
- 各レベルの財政資金による循環経済重点プロジェクトに対する支援を拡大する。

研究

資源総合利用の増徴税と
所得税の優遇政策を整備

建築ゴミや飲食店廃棄物
に対する課金制度を構築

循環経済発展のための
融資政策をさらに支援

循環経済発展に向けた次のステップ

• (四) 技術強化を支援

モデルプロジェクト

- 循環経済のキーポイントであり、共通性のある技術開発・重大技術装備の産業化モデルプロジェクトを実施するため、近日中に《重要資源循環利用工程（技術普及と産業化）実施方案》を発表する。

開発センター

- 関係部門による循環経済の共通性・キーポイント技術装備産業化開発センターの設立を支援する。

目録の発布

- 国が重点的に普及を図る循環経済に関する技術・装備の目録を発布し、循環経済のための先進的実用技術の普及を加速する。

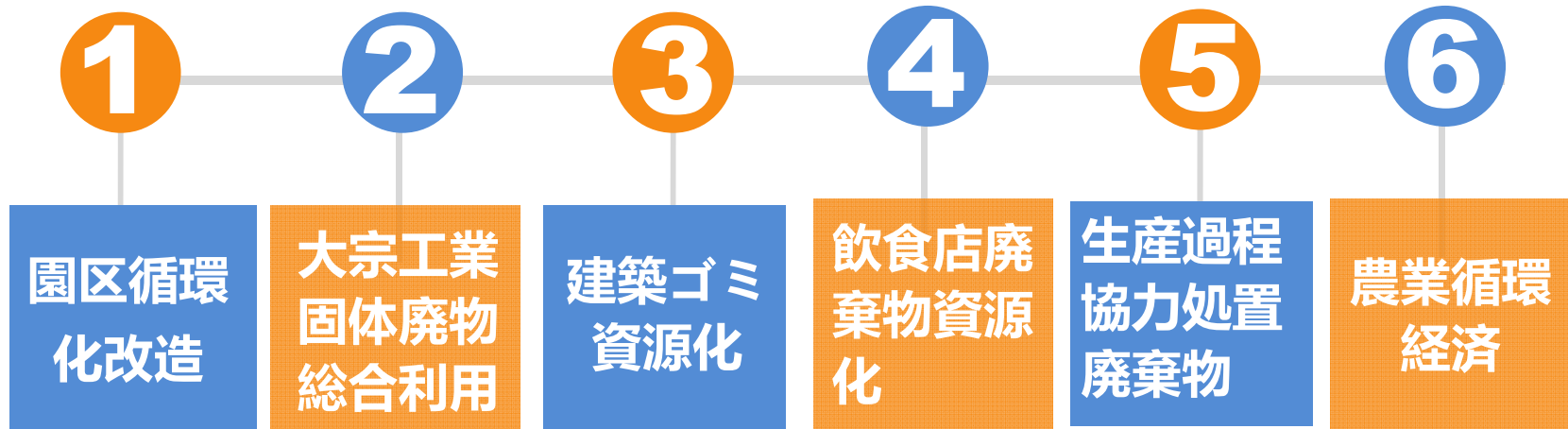
サービス体系

- 循環経済に関する技術サービス体系を構築する。

循環経済発展に向けた次のステップ

・（五）モデル普及の拡大

モデル工程実施



国家循環経済モデル都市（県）建設を継続展開。

循環経済モデル企業創設事業を行う。企業1000社を選定してモデルとする
とともに、資源産出率引き上げ工程を実施。

指定製品のエコ設計モデル工程を実施。

三、中日間の循環経済協力の展望



日中合作 都市廃棄物循環利用推進プロジェクト

- 2010年ー2014年、中国国家発展改革委員会と日本国際協力機構（JICA）は、包装廃棄物、廃タイヤ、食品廃棄物等の都市における典型的廃棄物の循環利用に係る政策法規研究、訪日研修を行うとともに、青島、貴陽、西寧、嘉興の対象4都市でパイロットプロジェクトを実施。
- 合作により中日拡大生産者責任制度（EPR）研究者交流プラットフォームを設置し、政策提案を行い、パイロットプロジェクト都市での典型的廃棄物循環利用システム構築を支援。



中日自動車リサイクルシステム研究開発・ 実証プロジェクト

- 2012年－2015年、中国国家発展改革委員会と日本新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、合作で自動車リサイクルシステム研究開発・実証プロジェクトを実施。日本企業（豊田通商）と中国企業（北京博瑞連通）のELV解体リサイクルプロジェクトの合作を支援。



中日韓循環経済モデル基地

•第2回、第3回、第4回中日韓サミットで発表された「中日韓の持続可能な開発に関する共同声明」、「中日韓協力ビジョン2020」等の政策的文書において、中日韓循環経済モデル基地の設置検討が提示された。



2012年10月10日、第2回中日韓サミットで「中日韓の持続可能な開発に関する共同声明」を発表

•2014年12月、中国は3つのモデル基地候補の実施計画に対する評価・審査を行うとともに、即時に日韓に進展状況を通知するなど、関連業務を継続している。

•日本側が足並みを揃え、共同で推進することを願う。

中日合作に関する展望

中国側が注目する分野

- 全社会をカバーする資源リサイクルシステムの建設
- 内需拡大、巨大な国内国際市場
- グリーン都市、循環都市、低炭素都市



中日合作に関する展望

合作方式のイノベーション

- 交流を強化し、日本の成熟した経験と方法に倣う
- 実務的協力により、中日企業間の合作を推進する
- 新分野を見出し、共同での研究開発を実現する



ありがとうございました！

